

- 
- 開催日 : 2019 年 6 月 25 日 (火)
  - 開催場所 : 神戸ポートピアホテル 本館地下 1 階「偕楽の間」
  - 開始時刻 : 10 時 00 分
  - 終了時刻 : 11 時 25 分
  - 出席株主数 : 354 名
- 

質疑応答

Q1 メニューレシピの更なる活用のため、スマホアプリを開発してはどうか。また、店頭においても紙面で配布してはどうか。

A. 店頭では POP 等、WEB では当社ホームページや「クックパッド」など外部のレシピサイトを利用してメニューレシピを紹介しておりますが、今後さらに内容を充実させてまいります。

Q2 昨年の株主総会の当時は株価が 2,800 円台だったが、直近は 2,100 円を下回っている。今期の業績予想が減益であることが影響しているのではないか。

A. 2018 年度は、営業利益及び経常利益は減益となりましたが、投資有価証券売却益を特別利益に計上したため親会社株主に帰属する当期純利益は増益となりました。2019 年度は、営業利益と経常利益は増益を予想しておりますが、2018 年度に計上した特別利益を 2019 年度は見込んでいないため、親会社株主に帰属する当期純利益は減益の予想となります。

新たな中期経営計画に基づき、事業活動に全力で取り組むことで株主の皆様へ報いてまいりたいと思います。

Q3 高齢者向けや女性向けの商品が少ない。取締役や管理職に女性が少ないからではないか。

A. 現在、女性の取締役はいませんが、女性の管理職は 2 名(執行役員人事部長とブランドマネジメント室長)おります。また、マーケティング本部の人員は半数を女性で構成しており、女性視点からの商品開発を行っております。高齢者向けにつきましては、「ソフトデリ」という柔らかい漬物や煮豆等を医療用や業務用で販売しております。

Q4 外出先などでも「蒸し大豆」を毎日食べられるよう小分けタイプを開発してほしい。

A. 貴重なご意見ありがとうございます。今後の商品開発の参考にさせていただきます。

Q5 「カスピ海ヨーグルト」をよく食べているが、PB 商品などと比べて価格が高すぎる。内容量を減らしてもよいので手頃な価格で販売してもらいたい。

A. 「カスピ海ヨーグルト」は、京都大学名誉教授の家森幸男先生がジョージアから持ち帰った乳酸菌クレモリス菌 FC 株と北海道生乳 100%の特別なヨーグルトであり、ブランド価値を毀損しないよう価値販売を継続してまいります。一方で値頃感も大切ですので小容量タイプなども検討してまいります。

Q6 海外事業の進捗はどうなっているか。

A. フランスでだしの文化が根付いてきているなど、海外における昆布の可能性を感じております。豆については台湾において協業先と技術提携を結んで「蒸し豆」を展示会に出品したところ、現地の小売やメディアから非常に注目されました。一日も早く株主の皆様へ海外事業について良いご報告ができるよう引き続き取り組んでまいります。

Q7 昆布の漁獲量が減少していると聞かすが、昆布原料を確保するための取り組みはしているか。

A. おっしゃるとおり、昆布の漁獲量は年々減少しており、また昆布は IQ (輸入割当品目)なので輸入できる量も限られております。一方で昆布の消費量が減少していることから需給バランスとしてはむしろ余る状況にあります。「ふりふり塩こんぶ」などの新しい商品を通じて昆布の需要を高めるとともに、昆布漁師の高齢化が進んでいることから産地との協働も進めてまいります。

Q8 買収防衛策についてどう考えているか。

A. 現在の買収防衛策は 2020 年 6 月に予定している第 60 回定時株主総会終了時までが期限となっております。買収防衛策を継続するか否かについては引き続き検討してまいります。個人的な思いとしては、食品事業において私どもには一日の長があり企業価値の向上に資することができると思っており、継続させていただきたいと考えております。

Q9 「アマゾン」で商品を販売しているか。また、フジッコは煮豆売場での存在感はあるが、他の売場で存在感がなく、もっと販売を強化してもらいたい。

A. アマゾン社とは 2017 年からアマゾンフレッシュという生鮮食品配送サービスでお取引しており、首都圏の一部が対象エリアとなっております。一番の売れ筋は「カスピ海ヨーグルト」です。店頭での販売についても、更なる販売強化に取り組んでまいります。

Q10 配当性向の目安を示してもらいたい。

A. 配当性向は 30%前後を目安としております。配当性向と合わせて、増配を続けることを重視しており、継続的に株主様に報いてまいりたいと思っております。

以上